

各位

2018年12月10日  
KNT-CTホールディングス株式会社  
総務広報部（広報）担当：岩本  
TEL：03-6863-0048

### 旅行取扱状況の概観（平成30年10月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト北海道、近畿日本ツーリスト東北、近畿日本ツーリスト関東、近畿日本ツーリスト首都圏、近畿日本ツーリスト中部、近畿日本ツーリスト関西、近畿日本ツーリスト中国四国、近畿日本ツーリスト九州、近畿日本ツーリストコーポレートビジネス、KNT-CT グローバルトラベル、KNT-CT ウェブトラベル、クラブツーリズム、ユナイテッドツアーズ、KNT 商事の合算額となります。

#### 記

海外旅行の取り扱い、学生団体は前年比 116.0%と前年を上回ったが、一般団体は同 85.6%と前年を下回り、団体旅行合計で同 97.7%と前年を下回った。企画旅行については前年比 107.0%と前年を上回り、個人旅行については同 129.8%と前年を上回った。

この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比 108.3%と前年を上回った。

国内旅行の取り扱い、学生団体は前年比 98.4%と前年を下回り、一般団体は同 84.9%と前年を下回り、団体旅行合計で同 93.1%と前年を下回った。企画旅行については前年比 94.4%と前年を下回り、個人旅行については同 99.3%と前年を下回った。

この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比 94.6%と前年を下回った。

外国人旅行は、前年比 101.5%と前年を上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の10月の総取扱額は前年比 99.2%となり、前年並となった。

#### 【区分別の状況】

##### 1. 海外旅行

海外団体については、学生団体は、修学旅行などの取扱人数の増加により、同 116.0%と前年を上回った。一般団体は、スポーツイベントなどの取扱いが好調に推移したが、昨年の大型の報奨旅行や周年旅行の反動減により、前年比 85.6%と前年を下回った。この結果、海外団体旅行合計で前年比 97.7%と前年を下回った。

海外企画旅行については、前年比 107.0%と前年を上回った。商品別では、ホリデイは方面別取扱人数の状況で、一部商品のクラブツーリズム商品への一体化の影響があるヨーロッパ方面や中国方面が前年から減少したが、その他の方面は好調に推移した。クラブツーリズムは、ヨーロッパやアジア、中国方面が好調に推移したものの、一方で、SIT方面は南アフリカ、南米が苦戦し、カナダ、北米、オセアニア、ハワイは低迷が続いている。

以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、前年比 108.3%と前年を上回った。

##### 2. 外国人旅行

外国人旅行は、個人旅行の宿泊商品が好調に推移したほか、ツアー型商品やレールパスなどの取扱いが堅調に推移し、前年比 101.5%と前年を上回った。

##### 3. 国内旅行

国内団体については、学生団体は、林間学校などの取扱人数が増加した一方で、修学旅行の取扱人数の減少により、前年比 98.4%と前年を下回った。一般団体は、周年旅行や大型の企業系コンベンションなどの減少により、同 84.9%と前年を下回った。この結果、国内団体旅行で前年比 93.1%と前年を下回った。

国内企画旅行については、前年比 94.4%と前年を下回った。商品別では、メイトは方面別取扱人数の状況において、首都圏方面は好調に推移したが、沖縄や北海道方面を中心に他の方面が低調であった。クラブツーリズムは、西日本豪雨以来、低迷が続いていた山陰・山陽、四国方面のふっこう割商品の販売が好調に推移した。その他、南東北、北陸、関西、九州が堅調に推移したものの、地震の影響により北海道方面は厳しい結果となった。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、前年比 94.6%と前年を下回った。

以上